

# CORIAN® NEWS

wondertrunk & co.

働く人をフラットにつなぐ9mのワークテーブル

スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京

独創性と機能を両立したスターバックスとコーリアン®の挑戦

THE SINK NOELSE (ノエルス)

自分らしく自由に選ぶ、セミオーダーシンク

Misha Merzliakov Yacht Design

強さと美しさを極めたスーパーヨット

鉄建建設 本社ビルエントランスロビー

自然の清々しさに包まれるエントランスロビー

駅舎ホテル INN MY LIFE

旅先の優しい時間に寄り添う小さなキッチン



## 働く人をフラットにつなぐ 9mのワークテーブル

wondertrunk & co.

Photo: Kengaku Tomooki

使用色  
アロールート



- インテリアデザイン 株式会社I IN
- 家具制作 株式会社イェザキインテリア工房
- コーリアン®加工協力 株式会社インテック

ボードのように直接書いたり消したりすることもできるというのも面白いと思いました。限られたスペースなので、使い方の多様性はプランニングの際に意識したことのひとつでした」と照井氏。

使用されたカラーは、白系のベースに流れ模様とクランチが浮かび上がるアロールート。9mのテーブルトップに仕立てると、ダイナミックな柄が引き立つ。アロールートはネイチャーとか、地球を感じる柄だと思いました。ラフでワイルドさもあって、wondertrunk & co. が提供する旅のイメージによく合うと思いました」と湯山氏。

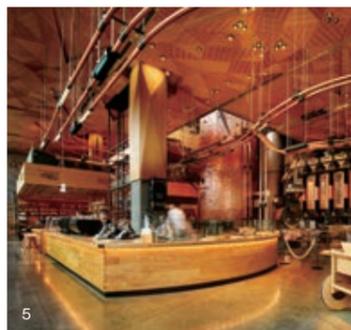
加工面では、9mという長さを継ぎ目なく作っているほか、コンセントや配線を隠すために中央に長いスリットを入れているが、その蓋もコーリアン®で製作することで一枚板のような仕上がりに。「加工性が高いので、ディテールを考えるのが楽しいですね。ほかの素材では難しいデザインもコーリアン®ならできるかもしれないと、発想が広がります。フレキシブルな加工ができるということは、異素材との組み合わせやすさにもつながる。それも魅力ですね」と話すお二人。インスピレーションを刺激する素材として、コーリアン®に注目して下さっているようだった。

日本のさまざまな地域を世界に紹介するトラベルエンジニア「wondertrunk & co.」の新オフィス。インテリアのデザインを手がけたのは、I INの照井洋平氏と湯山皓氏のお二人。オフィスの中心には、テーブルトップにコーリアン®を用いた長さ9mのワークテーブルが置かれている。

「こちらの会社はスタッフが20名ほどいるのですが一緒に働いているという一体感のあるオフィスにしたいということで、最初のプランニング段階から、全員で使える大きなワークテーブルを置こうという発想がありました」と話してくださいだったのは湯山氏。「スタッフの出入りも多いアクティブな会社なので、執務の場には安定感が欲しいと考え、大きすぎずでなく、存在としても、オフィスの中心になるように計画しました」と照井氏。

そこで素材選びとなるのだが、コーリアン®をワークテーブルのトップに使うかと思いついた理由は、手触りの記憶だったという。「ワークテーブルは一日で一番長い時間を過ごす場所であり、触れる機会も多いものですから、オフィスの中でもっと重要視されてよいのではないかと思ったのがきっかけでした。それでふと思いついたのが、コーリアン®だったのです。とこの記憶の中で、その手触りだけが鮮明に残っていて、これももしワークテーブルの天板だったら気持ちいいだろうなと思いました。硬い素材ははずなのに、触ってみると硬すぎることがなく、温度に対しても、熱くなったり冷たくなったりしにくく、常にフラットでいてくれてワークテーブルに求めた安定感が素材としても表現されて、すごくいいと思いました」と湯山氏。

オフィスの家具ということもあり、さまざまな角度からストレスなく使える素材であることも条件だった。「機能面で問題がないかも十分確認しました。メンテナンス性が高いということに加え、無孔質で汚れなどが染み込まないので、ホワイト



1 3Fのカウンターテーブルにコーリアン®を使用。カウンターの中には焙煎機。 2 2Fから1Fを覗く。スタッフの作業するテーブルはコーリアン®で統一されている。 3 2Fのティバーナ™バーでは、半円形の作業テーブルをカウンターが取り囲む。 4 3Fのアリビアーモ™バーの作業カウンター。 5 1Fから見た店内風景。

使用色  
ウィンドスウィフトブリマ



- 所在地 東京都目黒区青葉台2-19-23  
<https://www.starbucks.co.jp/roastery/>
- 設計・内装デザイン スターバックス
- 外装デザイン 隈研吾建築都市設計事務所
- 家具製作 株式会社天童木工
- コーリアン®加工協力 株式会社ライト

ラルな色合いは、こうした木材との相性もよく、また、ほかにはない独特の流れ模様が、内装を手がけたデザイナーの目にとまり採用に至った。さらに唯一無二の個性を追求するデザイナーの要望により、特別にシートの表面ではなく、通常は見えなくなる裏面をカウンタートップとして使用している。加工においては、表面とはやや異なる独特の模様を生かしながら、表面と同様の機能性を発揮するよう、0.1ミリ単位での調整を重ねながら、研磨作業が行われた。つまり、研削をかけることでデザイナーの求める雰囲気を再現できず、研削が不十分であれば、コーリアン®の持ち味である均一性が最大限に生かされない。そこで、スターバックスのデザイナー Frank Pauls 氏の立会いのもと、コーリアン®の加工会社でいくつもの加工サンプルを用意し、最適な仕上がりを探求。求められる意匠性と製品としての信頼性を両立することができる仕上げを決定した。

世界中のどこにもないロケーションで、新しいコーヒー体験を堪能することができる「スターバックスリザーブ® ロースタリー 東京」で、これまでに見たことのない、コーリアン®のこだわりのカウンターも、ぜひご覧いただきたい。

## 独創性と機能を両立した スターバックスとコーリアン®の挑戦

スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京

2019年2月28日に国内初、世界で5番目の「スターバックスリザーブ® ロースタリー」が東京目黒にオープンした。世界中から調達した希少価値が高く個性豊かなコーヒー「スターバックスリザーブ®」の焙煎と抽出を目の前で見る事ができるほか、通常の店舗では扱っていないドリンクやフードを楽しむことができる、特別なスターバックスだ。

目黒川沿いに立つ「スターバックスリザーブ® ロースタリー 東京」の建物は、外装デザインを手がけた隈研吾氏と、設計・内装デザイン担当のスターバックスデザインスタジオとの共同により「新しい日本らしさ」を表現。1階のメインバーから、斬新なティー体験が楽しめる2階の「ティバーナ™バー」、3階の日本初上陸のカクテルバー「アリビアーモ™バー」、そして4階のAMUインスピレーションラウンジまで、各フロアの天井は折り紙をモチーフにデザインされている。また、3階のバーカウンターなどでは、日本の伝統的な釘を使わない工法も採用された。

「細部までひとつも妥協したところがない」と同社がコメントする店舗づくりにおいて、コーリアン®もデザイナーの高い要求に応える素材としてさまざまな場所に採用されている。1階のメインバーでは、バリスタが作業を行うバックカウナーやベーカーコーナーの陳列カウンター、2階の「ティバーナ™バー」ではバックカウナーのほか、ティバーナ™の台座に、3階の「アリビアーモ™バー」、4階のラウンジでも、カウンターの一部に使用されている。カラーはすべて大柄のはっきりとした模様が際立つブリマシリーズのウィンドスウィフトブリマ。「スターバックスリザーブ® ロースタリー 東京」では外装に使用された杉板をはじめ、店内でも明るい色の木材が使用されている。ウィンドスウィフトブリマのナチュラルな色合いは、こうした木材との相性もよく、また、ほかにはない独特の流れ模様が、内装を手がけたデザイナーの目にとまり採用に至った。さらに唯一無二の個性を追求するデザイナーの要望により、特別にシートの表面ではなく、通常は見えなくなる裏面をカウンタートップとして使用している。加工においては、表面とはやや異なる独特の模様を生かしながら、表面と同様の機能性を発揮するよう、0.1ミリ単位での調整を重ねながら、研磨作業が行われた。つまり、研削をかけることでデザイナーの求める雰囲気を再現できず、研削が不十分であれば、コーリアン®の持ち味である均一性が最大限に生かされない。そこで、スターバックスのデザイナー Frank Pauls 氏の立会いのもと、コーリアン®の加工会社でいくつもの加工サンプルを用意し、最適な仕上がりを探求。求められる意匠性と製品としての信頼性を両立することができる仕上げを決定した。



## 自分らしく自由に選ぶ、 セミオーダーシンク

THE SINK NOELSE (ノエルス)



コーリアン®のシンクにスチールのスタンド。ミニマルなデザインだからこそ、シンクの色柄や素材感に目が止まる。「ノエルス」は、コーリアン®のさまざまな色柄で製作が可能なセミオーダーシンクだ。同一デザインでキッチンシンクと洗面シンクに対応し、サイズは1mm単位でオーダーが可能。「シンクももっと自由に選んでほしい」。そんな思いから生まれた製品だ。

たとえば、キッチンのカウンタートップなら、コーリアン®をはじめとするさまざまな素材のバリエーション豊富なラインナップから、好きな色柄、好きな色を選ぶことができる。しかし、シンクはどうだろう。もし、カウンタートップと同柄でシンクを作りたいと思っても、デザイナーや加工会社に専門の知識やノウハウがなければ、製作が難しい場合やコストの面で折り合いがつかないことも多いのではないだろうか。そこで、ADOPTキッチンワークスの濱田淳氏が提案したのが、「セミオーダー」という考え方。加工会社と協力して、シンクルで使い勝手のよいセミオーダーシンクを開発した。「これだけキッチンのデザインのバリエーションが増え、インテリアに合わせるというコーリアン®の概念もでてきているのに、シンクの選択肢だけが現実的には限られていました。デザインをフォーマット化したセミオーダーであれば、シンクをオーダーすることへのハードルが低くなるのではと考えました」と濱田氏。デザインするにあたり、「こだわったのはシンプルであること。トレンドでもあるシンブルな暮らし方、シンブルな空間に合致するようなものを目指した。排水溝をできる限り端に配置し、存在感をなくすなど、ディテールも熟考した。ノエルスは、当初、同柄のカウンタートップと組み合わせることを想定して開発されたが、コー

リアン®の新品と出会ったことで、写真のようにスタンドと組み合わせるデザインにも発展した。「コーリアン®のサンプルを裏返すと、表とはまったく違う柄に見えるものがあることに気がつきました。コーリアン®の場合、裏といっても、タイルの裏面のような機能的な裏ではありませんが、そのまま表裏を同時に見せるデザインにしたらどうだろうと思いつきました。」

使用したカラーは、表裏それぞれの個性が際立つシルバーニアとドミノテラツツオの2色。ブラック、ゴールドのスタンドと組み合わせるとハイコントラストなコーリアン®も新鮮だ。「小口をそのまま見せることができるのも、表層とコア部分が均一な素材であるコーリアン®ならではの。表とも裏とも違う印象の柄が小口に現れるのも面白いところですね」と濱田氏。

無垢材であるコーリアン®だからこそ、木材の一枚板のような使い方もできるはず。そんな発想から生まれた、ユニークなデザイン。ノエルスのデザインは、色柄の豊さとコーリアン®ならではの特性が、表現の可能性を広げるきっかけになることを示してくれた。

使用色  
シルバーニア、ドミノテラツツオ



●設計 ADOPT キッチンワークス 濱田淳  
●製作 大日化成工業株式会社

※「ノエルス」は意匠登録済、実用新案登録済の製品です。



熱成形した装飾的ウォールパネルにはコーリアン®のパールカラー、中央の幾何学的な照明装飾にはグレイシアホワイトカラーを使用。 Photo: Damien Bredberg



強さと美しさを極めた  
スーパーヨット  
Misha Merzliakov Yacht Design

(写真上) ホストの一番のもてなしの場所にはコーリアン®パールカラーのテーブル。さまざまな天候にも負けない優れた耐久性を備えている。(写真下) キッチンのカウンタートップと熱成形によって垂直につながった側面。端にパールカラーのバックライト付きコーリアン®の仕切り。 Photo: Damien Bredberg

Misha Merzliakov Yacht Design が手がけたスーパーヨット(超大型クルーザー)「Whitehaven 6100 Coupe Euro」。機能とスタイルが違和感なく一体化したその船内には、ラグジュアリーでモダンなインテリアを形づくる重要な素材として、コーリアン®がふんだんに用いられている。素材の選定にあたっては、さまざまな形状を作り出すことができ、加工性の高さ、スーパーヨットにふさわしい色柄がそろっていることなどが求められ、条件を満たしていたのは、曲げ加工やシームレス接続が可能なコーリアン®だけであったという。完成したデザインは、船内という限られた空間を無駄なく生かし、心地よく見せるすっきりとしたシルエットとクールな色合い。透明感のある仕上がり、船内のそれぞれの空間にしっくりなじんでいる。

キッチンでは、一体化したデザインのカウンタートップと側面やパーティションに、また、海風を感じながら食を楽しむことができるよう室外に置かれたオーダーメイドのダイニングテーブルもコーリアン®で製作された。まさに、洋上の厳しい環境、さまざまな天候にも負けない耐久性を備えているからこそ、かなう使い方。

今回使用されているグレイシアホワイトとパールのような透明感のあるカラーは、船内全体に部分照明を施すための素材としても理想的だった。たとえば、卓越したデザインをさらに昇華させるため、あるいは洋上でも美しい照明効果を演出するため、いくつかのエレメントにはバックライトが採用されている。キッチンのパーティションは手元をやさしく照らす照明の役割も兼ね、マスターキャビンのベッドボードに取り付けられた幾何学的なデザインの照



使用色  
グレイシアホワイト、パール (2019年オプションカラー)



- 設計 Misha Merzliakov
- 施工 Whitehaven Motor yachts
- 加工 Thermoform Fabricators & Nan Zhu Xing Co., Ltd.

明は、グレイシアホワイトの色合いと相まって、氷を彫刻したような印象だ。また、ベッド両サイドの照明は、光るコーリアン®のパネルが大きく弧を描きながら天井へと続くデザインで、寝室をドラマチックに演出している。実用性と装飾性を兼ね備えた照明の数々は、ゲストの話題にのぼること請け合いだ。

ヨットの設計では、安定性と耐久性が何よりも重視される。常に塩害と隣り合わせの屋外環境には、最高の品質を備えた素材が必要だ。使用されたコーリアン®は紫外線耐性を備え、過酷な洋上の環境でも強さを発揮する。

さらにスーパーヨットとなると、機能だけでなく、洗練されたスタイルや特別な贅沢感も求められる。実用性とデザイン、そのどちらも妥協することなく、かなえることができるコーリアン®は、デザイナーの思い描く空間を忠実に再現している。



## 旅先の優しい時間に寄り添う 小さなキッチン

駅舎ホテル INN MY LIFE



## 自然の清々しさに包まれる エントランスロビー

鉄建建設 本社ビルエントランスロビー

のどかな里山風景の中を、一面編成の列車がゆつくり走る。天竜浜名湖鉄道の無人駅、二俣本町駅に1日1組限定の駅舎ホテル「INN MY LIFE」がオープンした。

「天竜浜名湖鉄道の沿線には、すばらしい観光地が点在しています。ところが宿泊施設が充実していませんでした」と話すのは、オーナーの中谷明史氏。地元であるこのエリアを盛り上げたいと、数年前、シャッター通りになっていた商店街にカフェをオープン。旅行業やシェアオフィスなども立ち上げた。「INN MY LIFE」をはじめたきっかけは、駅舎に入っていたそば店が閉店してしまうと聞いたから。

「この小さな空間で1泊滞在していただく間、どれだけ飽きずに過ごしていただけるかということに配慮しました」という約37㎡の部屋は、白を基調として広く見せ、天井高や床のレベルに変化をつけて、空間にリズムをつけている。入ってすぐの土間スペースには、小さなキッチンもある。夕食は沿線の店で地元の食を楽しんでもらえるよう勤めているが、朝食は冷蔵庫に用意された地域の食材を自由に食べることができる。キッチンではお茶を入れたり、食器を洗う程度なので、小さなシンクと水栓を備えただけのミニマルな設計だ。限られた空間で、キッチンだけが異質な存在にならないようにと、キッチン製作を担当したテイオー産業にリクエストしたそう。そして提案されたのが、シンクまで一体でデザインすることができる「コーリアン」で造るオリジナルキッチンだった。

「高級感のある質感や色合いがすごくよいと思いました。存在感をきちんと出しながら、シンプルで空間に溶けこんでいるので、空間全体の完成度も上がりました」と中谷氏。実際に形になり、コーリアン®のもつ独特の雰囲気にも驚いた。



エントランスロビーの壁面を彩る陶版画「春の富士」は、日本画家・片岡球子氏の原作をもとに制作。創立50周年を迎えた際に設置されたもの。富士山が美しく映えるよう照明デザインも変更した。

創立75周年を迎えた鉄建建設の本社ビルエントランスロビーがドラマチックにリニューアルした。同社は鉄道工事のトップランナーとして、東京駅丸の内駅舎をはじめとする数々のプロジェクトを手がけてきた総合建設会社だ。エントランスから中に入ると、その歴史にふさわしい重厚感とモダンなデザインが融合した空間が広がり、石や木や植物、水といった大地を感じさせる意匠が随所に用いられているせいか、まるで深い森に包まれたときの安らぎや、清々しい緊張感に満ちていた。

カウンタートップにコーリアン®のアースが使われた受付カウンターの前に立つと、視線の先には、壁に貼られた陶版画で描かれた、雄大な富士山の姿が現れる。「空間全体は、春の雪解けシーズンをイメージしています」と説明してくださったのは、今回のリニューアル計画を担当した同社の金田良太氏。

リニューアルにあたり課題となったのは、段差をなくすなどのバリアフリー化、来訪者と社



使用色  
カメオホワイト



●所在地 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣天竜浜名湖鉄道 二俣本町駅  
https://www.innmylife.com/home  
●デザイン STUDIO CALM  
●キッチン製作 テイオー産業株式会社  
●施工 new&s

たという。「重いのには軽いというか、絶妙な存在感がありながら、質量を感じさせない。まるで雲のような素材だと思いました」。

宿泊者には、ガイドブックに載っている観光地を巡るだけでなく、気の向くままに周囲を散策してほしいと勧める中谷氏。「そうやって偶然出会った景色や人と触れ合うことが人生を豊かにしていく要素になると思います」。日常を忘れて、ちょっと贅沢な時間の使い方を。そのために用意された心地よい空間に、さりげなくコーリアン®が使われていた。

使用色  
アース

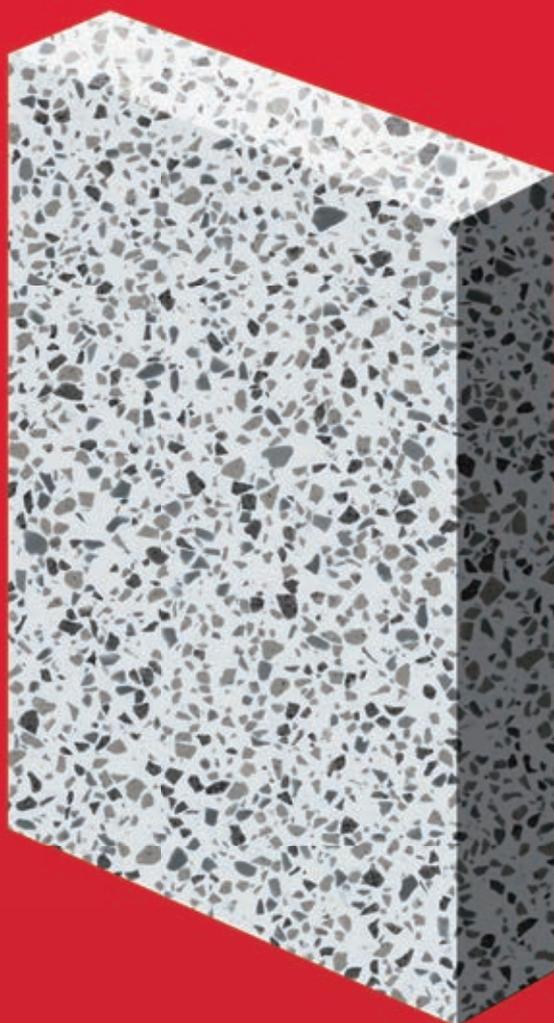


●所在地 東京都千代田区神田三崎町2-5-3  
https://www.tekken.co.jp/  
●デザイン・施工 鉄建建設株式会社  
●協力会社 株式会社アーキサポート  
株式会社高千穂プロダクツ

員の動線整理、そして「春の富士」を引き立てる空間にすることだった。そこで、ロビー奥にあった受付カウンターを中央に移動。サークル型からスクエア型にデザイン変更し、面をつくることで、空間を「通路」「待合」「ラウンジ」の3つに、ゆるやかにゾーニングした。

「受付カウンターに空間を切り替える機能を持たせたかったので、余分な線を入れたくないと考えました。そこで、シームレスな加工ができるコーリアン®を採用しました。コンセプトであった「重厚でありながら親しみを抱かせる空間」にもびつたりな素材でした」と金田氏。カラーの選定は、実際にシヨールームを訪れて大判のサンプルで確認したそう。「アースは、思っていた以上に自然を感じさせる柄でした。サンプルチップで見るとときは、パターンの繰り返しになっているのかと想像していましたが、まったく違いました」。

自然をテーマにした空間にも期待以上にマッチし、思い描いていたイメージに近づけることができたと話してくださった。



コーリアン®の裏側  
お見せします。

素材を知れば、デザインの幅が広がる  
コーリアン®レポート <http://www.corian.jp/-corian-report->



**CORIAN**<sup>®</sup>  
SOLID SURFACE

コーリアン®ニュースはWEBでもご覧いただけます。

[www.corian.jp](http://www.corian.jp)

2019年の新色紹介はこちら

[www.corian.jp/-2019-new-colors-](http://www.corian.jp/-2019-new-colors-)



◎施工事例募集

コーリアン®を使用した施工事例を募集しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

**デュポン・MCC株式会社**

〒107-0062 東京都港区南青山1丁目15番9号 第45興和ビル TEL:03-5410-8551 FAX:03-5410-8501

©デュポン・MCC株式会社 著作権:いかなる形式においても許可無く、本誌の一部または全部の複製を禁じます。©2019 Du Pont-MCC Co.,Ltd. All rights reserved.  
CORIAN®, コーリアン®, Make Your Space™, DuPont™は、米国デュポン社もしくは米国デュポン関連会社の登録商標または商標です。